

平城宮跡資料館

奈良文化財研究所創立60周年記念
秋期特別展「地下の正倉院・平城宮第一次大極殿院のすべて」

大極殿とは、古代の宮都における中心施設で、元日朝賀や天皇の即位など、国家儀式の際に天皇が出御する場所です。平城宮では、奈良時代前半と後半で別の位置に建て替えており、奈良時代前半の「第一次大極殿」は、宮の正門である朱雀門の真北に位置していました。

第一次大極殿院は、第一次大極殿を中心建物とする、築地回廊に囲まれた広大な空間のことで、南面の築地回廊の中央には門が、更に、その両脇に楼阁建物が付設され、壮大な景観を誇っていました。

第一次大極殿院地区に初めて鍬が入ったのは1959年のことです。それ以来、50年の間に47回にもおよぶ発掘調査を経て、ほぼ全貌があきらかになりました。本展では、第一次大極殿院地区で出土した瓦、巨大な柱根をはじめとする建築部材、整地土に紛れ込んだ木簡、建物を取り壊す際の祭祀具、今はなき建物を彷彿とさせる検出遺構の写真や図面など、50年の発掘調査成果をギュッと凝縮してまるごとお見せします。『続日本紀』などの歴史書だけでは捉えきれない、当時の国家の中核の様子を垣間見ることのできる、またとない機会です。毎年恒例の木簡展示も総数72点（3期に分けて展示）と圧巻です！（企画調整部 中川 あや）

会 期：2012年10月20日（土）～12月2日（日） 開館時間：9:00～16:30（入館は16:00まで、月曜休館）

お問合せ：☎0742-30-6753（連携推進課） ギャラリートーク：会期中毎週金曜日14:30～（11月第4週目のみ木曜日）



編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2012年9月